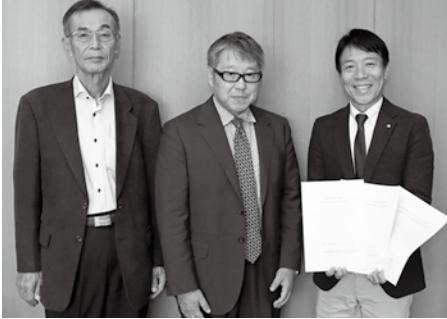


## 指定管理者選定委員会が 町長へ報告書を提出



▲報告書を受け取る藤本町長（有吉祥男副委員長④、朝水宗彦委員長⑤）

竜崎温泉潮風の湯、周防大島町ながうらスポーツ滞在型施設等および周防大島町サン・スポーツランド片添等指定期間者選定委員会（朝水宗彦委員長・山口大学経済学部教授）は、11月17日、竜崎温泉潮風の湯、周防大島町ながらスポーツ滞在型施設等（長浦スポーツ海浜スクエア、グリーンステインガラスラ）および周防大島町サン・スポーツランド片添等（周防大島町サン・スポーツランド片添、周防大島町片添ケ浜温泉遊湯ランド、周防大島町青少年旅行村）の指定管理者の選定に係る報告書を藤本町長に提出しました。

町では12月議会において、優先交渉権者の指定の議決を受け、施設の指定管理者に指定することとしています。

今年度も2026年1月18日(日)に開催予定の周防大島まるかじり「紅白餅合戦」ですが、おかげさまで20年という継続開催の節目を迎えることができました。

現在では新春の餅まきイベントとして定着した周防大島まるかじりですが、発足当初は秋祭りであり「まるかじり」の名の通りあれこれを楽しんでいただく産業祭で、2006年の第一回目の開催時には、「ひと・まち★きらりで島はひとつ」をスローガンに、初物の大島みかんや獲れたて魚介類の即売会、特産品の屋台市に地魚料理の食べ歩き、遊覧船に温泉巡り、緊急車両の体験乗車に釣り情報のご案内、ふわふわドーム・バッテリーカー・ストラックアウト・射的などのアトラクションにステージイベントの数々、会場そばにある干潮時のみ渡れるラブラヴ真宮島、そして周防大島恒例のもちまき・・・などなど周防大島大集結の「周防大島まるかじり」をお楽しみください！】とご案内していました。

農協主催の農業祭をベースに、団体の枠を超えて、旧町の枠を越えて始まったイベントに、民間・行政といった垣根もなく多くの人たちが集まり、会場準備に汗を流したことを20年たった今でも鮮明に思い出します。

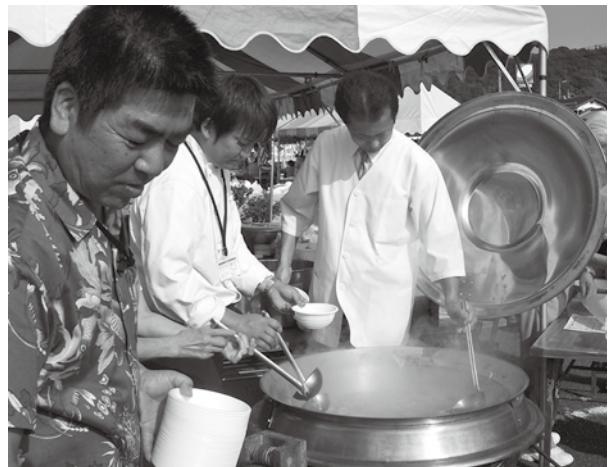
その後、開催日程は10月から11月を経て新春の1月に、会場は道の駅から椋野漁港を経て日良居グラウンドに、イベントの内容もみかん鍋の試作やサタフラのプレイベントなどのチャレンジ企画を経て「紅白餅合戦」へと変遷をたどります。

さて、新年あけの周防大島まるかじり「紅白餅合戦」は、総数20,000個のお餅が新春の空に舞います。会場では干支餅まきや年賀ハガキ餅まきに、無病息災や商売繁盛などの祈願餅まきをはじめ、山口大島みかんや瀬戸内の海産物の直売に地元料飲店による島飯屋台、こども広場にはパトカー・白バイ・消防車・自衛隊車両の体験乗車、キッズ郵便局などのサービスやアトラクションを準備しています。

イベントの最後にはみかん鍋の大盤振る舞いで大団円を迎えますのでご期待ください！

最後にお願いです。

周防大島まるかじり「紅白餅合戦」の会場駐車場は大変混み合いますので、混雑緩和のためにも乗り合わせてご来場いただけますようご協力ください。



▲過去の「まるかじり」の様子